

# 【プログラム2:さいころトークで 親しくなろう!】

☆ねらい：サイコロの出た目の話題を話すことを通して、参加者同士が互いを知り認め、思いを共有し、つながりを深める。

## 《プログラムの概要》

|         |  |
|---------|--|
| キーワードの例 | コミュニケーション  |
| 時間      | 20分  |
| 人数      | 何人でもできる。   |
| 活動形態    | グループ（1グループの人数は3～4人）  |
| 準備物     | サイコロ、補助シート（それぞれグループ数）  |
| 主な活動    | ①さいころトーク（順番にサイコロを振り、出た目の話題を話す。）をする。<br>②感想や印象に残った発言等を他のグループの人に紹介する。  |
| 気を付けること | ○「可能な範囲で話すとよいこと」、「話せないときは、『パス』をしてもよいこと」を話し、安心感を持たせる。<br>○全員が同じ条件で話せるようにする。（1回の話す時間を約30秒程度等決めた方がよい。）<br>○話題は、複数の中から自らが選んで話すという形が、参加者の主体性につながり望ましい。      |
| まとめについて | ○展開例に示しているポイントは、本プログラムにおける例である。進行役が自身の体験や経験から感じていることを付け加えたり、例示してあるポイントから取捨選択したりして参加者に伝えるようにする。<br>○例示のポイントを押し付けないように心がける。<br>○参加者に分かりやすい言葉で伝えるように心がける。 |
| 備考      | ○書く活動はないので、座談会形式でもできる。<br>○話題は、参加者の構成や学校・学級、その他実施対象の保護者の属性に合わせて変更したほうがよい。  |

【プログラム2：さいころトークで親しくなろう！】 [20分]

| 時間  | 形態 | 講座の流れ  |
|-----|----|--|
| 1分  | 全体 | <p>1. ねらいを確認する。【1分】</p> <p>[キーワード] <span style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">○コミュニケーション</span></p>   |
| 17分 | 全体 | <p>2. さいころトークをする。【14分】</p> <p>(1) 方法を知る。〈1分〉</p> <p>参加者が自分でサイコロを振り、出た目の話題について話す。</p> <p>全体 (2) 注意事項を確認する。〈1分〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>○可能な範囲で話す。</p> <p>○1人の話が長すぎないようにする。(1回の発言は30秒程度等)</p> <p>○誰かが話しているときは、しっかり聴く。</p> <p>(相手を見る、うなづく、微笑む、あいづちを打つ等)</p> <p>○誰かが話し終わったら、拍手をする。</p> <p>○参加者のプライバシーに関わるものは、勝手に他の人に話さない。</p> </div> <p>グループ (3) グループごとに始める。〈12分〉</p> <p>※参加者の属性に応じて話題を工夫する。(補助シート参照)</p> |
|     | 全体 | <p>3. 感想や印象に残った発言を他のグループにも紹介する。【3分】</p>  |
| 2分  | 全体 | <p>4. まとめを話す。【2分】</p> <p>[ポイント]</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>・お互いが身近に感じられるようになったのではないか。</p> <p>・同世代の子どもをもつ親は、喜びも悩みも共有できるので、これを機に、参加者同士のつながりを深めてほしい。</p> </div>   |

〔 活動 〕

〔 基本的な説明・問いかけ例 〕

〔 備考 〕

1. ねらいの  
確認

○今日は、「コミュニケーション」をキーワードに  
講座を進めていきたいと思います。

・キーワードを  
提示する。

2. さいころト  
ークをする

○今日は、サイコロを使ってお互いに話し、楽しみ  
ましょう。

まず順番を決めてください。サイコロを振り、出  
た目の話題を話します。（2個のサイコロを使う  
場合は、2個を同時に振ってください。）

話題は2つあるので、話しやすい方を選んで話し  
てください。

・方法1：サイ  
コロ1個と話  
題シート  
方法2：手作  
りのサイコロ  
2個使う  
それに合った  
説明をする。

(注意事項の確認)

○さいころトークをする時に、気を付けていただき  
たいことを話します。話題は話せる範囲で話して  
ください。

○1人の話は30秒以内にする等、長すぎないよう  
にしてください。

○誰かが話をしているときは、話し手を見たり、あ  
いづちを打ったりする等、しっかり聴いてくださ  
い。また、話し終わったら拍手をして盛り上げま  
しょう。

○最後に、参加者のみなさんのプライバシーにかか  
わるものもありますので、聞いた話は、他の人に  
話さず、この会の中だけに留めてください。

それでは、グループごとに始めてください。

・注意事項を伝  
えることは大  
事だが、あま  
りにも時間を  
かけすぎない  
ように気を付  
ける。

### 3. 感想等の紹介

- まだ話している途中だと思いますが、さいころトークをした感想や印象に残った発言等を紹介してください。  
(時間があればグループの意見を多く紹介する。)
- どうでしたか？いろいろな意見を聞いて参考になりましたか？

・特に、全体に紹介したい発言等がある場合は、進行役が全体に紹介してもよい。

### 4. まとめ

- さいころトークで、いろいろなことを紹介し合うことで、始める前よりグループの人のことを身近に感じられるようになったのではないのでしょうか。
- 同世代の子どもを持つ親は、喜びも悩みも共有できるので、心配なこと等は一人で抱え込まないことが大切です。今日のこの講座をきっかけに、お互いのつながりを深めてほしいと思います。

・声の大きさや早さ、表情等に気を付けながら話す。

さいころトークで親しくなろう！

◇さいころトークの進め方と話題（例）

★進め方：参加者が自分でサイコロを振って、出た（目の）話題を話す。

★話題

【Aバージョン：参加者のつながりをもつ初対面が多い自己紹介型】

| サイコロ<br>の目の数 | 話 題                             |
|--------------|---------------------------------|
| 1            | 好きなもの or すきなこと                  |
| 2            | 時間があったらやりたいこと                   |
| 3            | 苦手なもの or 苦手なこと                  |
| 4            | 今、欲しいもの                         |
| 5            | 子ども（家族のだれか）を一言紹介                |
| 6            | アクション<br>（笑顔を見せたり、声を出して笑ったりする等） |

【Bバージョン：参加者のつながりを深める顔見知り仲間型】

| サイコロ<br>の目の数 | 話 題                             |
|--------------|---------------------------------|
| 1            | ストレス発散法                         |
| 2            | 子どもの頃の夢                         |
| 3            | 今後、やりたいこと                       |
| 4            | これまでの思い出（いつの頃でも、どんなことでも）        |
| 5            | 最近、楽しかったこと、嬉しかったこと              |
| 6            | アクション<br>（笑顔を見せたり、声を出して笑ったりする等） |

【Cバージョン：子育てに関する喜びや悩みを共有する子育て仲間型】

| サイコロ<br>の目の数 | 話 題  |
|--------------|--|
| 1            | 子どものことで嬉しかったこと                               |
| 2            | 子育てで気になること（悩んだこと）                            |
| 3            | 子どもに望むこと                                     |
| 4            | 子どものことで悩んだらどうするか（対処法）                        |
| 5            | 子どもを早く寝せるためのよいアイデア<br>（子どもの発達段階に応じた話題にするとよい） |
| 6            | アクション<br>（グループの人と一緒に笑ったり、握手をしたりする等）          |

【Dバージョン：参加者に事前に話したい話題を聞き、テーマを設定するオリジナル型】



(^o^) 複数（2つ）の話題から、参加者自身が選んで話すという方法が、より参加者の主体性につながり、和やかな雰囲気につながる。  
話題シートやサイコロなどは2種類用意した方がよい。





【展開図: その2】

※サイコロの話題は、参加者の状況に応じて変えましょう。

|  |                                      |                                     |                       |
|--|--------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------|
|  |                                      | 今後、やりたいことはどんなことですか？                 |                       |
|  | アクションをしよう。<br>(笑顔を見せたり、声を出して笑ったりする等) | 最近、楽しかったことや嬉しかったことを紹介しよう。           | あなたのストレス発散法はどんなことですか？ |
|  |                                      | これまでの思い出を紹介しよう。<br>(いつの頃でも、どんなことでも) |                       |
|  |                                      | 子どもの頃の夢は何でしたか？                      |                       |

※実線をはさみで切り組み立てると、サイコロができあがります。